

カトリック応用科学大学 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻
第5回 日独パネルディスカッション

Integrated Community Care (地域包括ケア)

ドイツ南方にあるフライブルクは環境にやさしい街づくり、身体にハンディを持った人や高齢者に優しい街づくりをしている都市です。私たちは共同で、高齢化または医療と福祉の連携の在り方について、パネルディスカッションを行って来ました。今回は、カトリック応用科学大学の学長、副学長らを迎えての開催となります。

(通訳は特におきませんが、大学教員等が英語でのコミュニケーションをお手伝いします)

開催日時：**2019年6月14日 (金曜日) 15:00~16:45**

開催場所：**三重大学医学部附属病院 外来棟 5階ホール**

セッション1：“Securing the care in an aging society in Germany”
(ドイツの高齢化社会におけるケアの確保)

Kricheldorff C 先生 (副学長) 「Gerontology (老年学の観点)からのドイツの取り組み」

Kellner A 先生 (看護学科長) 「新しく施行された法律に基づいての看護に携わる人たちの職業人教育、ドイツでの取組」

Engler S 氏 (大学Staff兼, PhDコース学生) 「遠距離からのケア」

セッション2：“Demand for skilled workers in the care sector”
(医療分野における熟練労働者の需要)

Kösler E 先生 (学長)：「人材不足について、ドイツの現状と対応、外国人の登用など、諸般の問題」

セッション3：日本における高齢化社会への対応

澤田樹里 看護師 (三重大学附属病院) 「地域包括ケア」における急性期病院としての大学病院の役割

芝合香織 看護師, 主任(公立紀南病院) 「地域包括ケア」を念頭に、地域、とくに過疎が進む地域の病院が対応できること、将来展望も含めて

宮田千春 准教授 「老健施設での看護、現状と課題」

(三重大学大学院医学系研究科看護学専攻)

セッション4：総合討論

座長, 水谷真由美 准教授, 広江Helbing尚美 氏 (カトリック応用科学大学国際交流センター長)

事前申し込み：**6月3日**までに、(s-takeuchi@nurse.medic.mie-u.ac.jp) まで、
件名「第5回 日独パネルディスカッション申込」として、①氏名、②所属、③自動車での来校予定、④会場までの案内図の要不要の4点につき、送信をお願い致します。

※ お車で来場の方は駐車券を発行いたします

※会場案内図は事前申し込みの返信に添えてお送りします

成田 有吾 (三重大学 看護学科 国際交流委員長)
三重大学大学院医学系研究科看護学専攻 看護学セミナー及び
三重大学地域拠点サテライト東紀州サテライト認定事業として開催